【1-c】カリキュラムマップ (資格支援センター)

芸術学部 ディプロマ・ポリシー		
人間力 自立したひとりの人間として 生きるための基盤の力	知識	人間、社会、自然等に関する知識・情報を体系的に収集・理解できる
	思考力	正しい情報をもとに、物事を論理的に考えることができる
	行動力	自らを律しながら、設定した課題に粘り強く継続的に取り組むことができる
	倫理観	自らの良心に従い、社会のために芸術・デザインの力を活かすことができる
創造力 芸術の力を 社会のために活かす	発想力	豊かな感性からの直感を、概念・イメージなどにまとめることができる
	構想力	概念・イメージなどを紡ぎ合わせ、テーマ・仮説として練り上げることができる
	表現力	テーマ・仮説などを、様々な媒体によって可視化し提案することができる

◎ DPを達成するために特に重要
○ DPを達成するために重要
△ DPを達成するために望ましい

科目名	必修/選択	履修年次	講義/演習	単位数	ナンバリング	開講期	知識	思考力	行動力	倫理観	発想力	構想力	表現力	テーマ	授業概要	到達目標
●教職課程																
教師論	必修	1	講義	2	81TEA2L01	前後期	◎	○					△	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	本科目は、本学の教職課程の入門授業として位置づけられている。授業を通して、(1)教職の意義および教員の役割、(2)教員の研修や服務、身分保障等、職務内容、(3)学校が内外の専門家等と協力しつつ子どもの指導にあたっていく体制、(4)自らの進路として教員を目指すための方法の4点について、講義やグループワークを通して深く学んでいく。	現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。
教育原理	必修	2	講義	2	81TEA2L02	前後期	◎	○					△	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	本講義の内容としては、1)日本及び諸外国の教育に関する歴史や思想、2)学校教育の基本的な原理及び方法を踏まえた上での教育の意義・目的・理念の理解、3)現代の学校教育をめぐる問題について学び、考えていく。これらの項目について、単に知識と知るだけでなく「なぜ～なのか?」と問いかけをもち、他者と対話しながら考えることで、教育に関する教養の裾野を広げてほしい。	教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたかを理解する。
教育心理学	必修	2	講義	2	81TEA2L03	前後期	◎	○					△	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	発達、学習、認知、臨床、教育に関わる各種心理学の基礎を、講義や映像を通じて学ぶ。また簡単な心理学実験を体験し、知識や理解を深める。	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解する。
特別支援教育概論	必修	2	講義	2	81TEA2L04	前後期	◎	○					△	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育に関する基礎的理論の理解を求めるとともに、特別支援教育の制度・それぞれの障害特性・支援方法(指導法)等について概説する。	通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。
教育制度論	必修	2	講義	2	81TEA2L05	前後期	◎	○					△	教育に関する制度的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	日本の学校法制度の基本を俯瞰するとともに、地域と学校の連携や学校保全などの学校を取り巻く様々な現代的課題を具体的な事例をもとに検討する。	現代の学校教育に関する制度について基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解する。なお、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も身に付ける。
教育課程論	必修	2	講義	2	81TEA2L06	前後期	◎	○					△	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程に関する基本的な概念や編成原理を理解したうえで、日本における教育課程の歴史の変遷や海外のカリキュラムの展開、ならびに現代の教育課程編成と授業づくりの方法についての具体的な取り組みを検討する。	学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。
道徳教育の理論と実践	必修	2・3	講義	2	81TEA3L07	前後期	◎	○					△	道徳の理論及び指導法	道徳教育の意義や歴史などの理論から、実際の学校における道徳教育についての実践的な部分までを扱う。また、道徳の時間の指導案の作成についても学び、道徳教育や道徳の指導法の理解を深める。	道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神を踏まえ、自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育成する教育活動である。道徳の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画等を理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して、実践的な指導力を身に付ける。
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必修	2・3	講義	2	81TEA3L08	前後期	◎	○					△	・特別活動の指導法 ・総合的な学習の時間の指導法	「特別活動」および「総合的な学習の時間」の意義・役割を理解し、それらを実施する上で必要な知識技能を身につける。 ・特別活動の意義、目標及び内容を理解する。 ・特別活動の指導の在り方を理解する。 ・総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解する。 ・総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、そのスキルを習得する。 ・総合的な学習の時間の指導と評価の考え方および実践上の留意点を理解する。	・特別活動は、学校における様々な構成の集団での活動を通して、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々な行われる活動の総体である。学校教育全体における特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」・「社会参画」・「自己実現」の三つの視点や「チームとしての学校」の視点を持つとともに、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等の特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付ける。 ・総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究する学びを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身に付ける。
教育方法	必修	2・3	講義	2	81TEA3L09	前後期	◎	○					△	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法をめぐる理論や実践について概観する。主として、教育学における方法論的な議論のおこりから、さまざまな実践活動、そして現代の授業の方法や技術、あわせて情報機器や教材の活用について学ぶ。講義で取り上げる教育方法に関する基本の把握を求める。	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)では、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。

科目名	必修/選択	履修年次	講義/演習	単位数	ナンバリング	開講期	知識	思考力	行動力	倫理観	発想力	構想力	表現力	テーマ	授業概要	到達目標
生徒・進路指導論	必修	2・3	講義	2	81TEA3L10	前後期	◎	○					△	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒の望ましい人間形成とキャリア発達の視点に立ち、「生徒指導」および「進路指導」の意義・役割を理解し、指導上必要とされる知識技能を身につける。	・生徒指導は、一人一人の児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じ行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける。 ・進路指導は、児童及び生徒が自ら、将来の進路を選択・計画し、その後の生活によりよく適応し、能力を伸長するように、教員が組織的・継続的に指導・援助する過程であり、長期的展望に立った人間形成を目指す教育活動である。それを包含するキャリア教育は、学校で学ぶことと社会との接続を意識し、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付ける。
教育相談	必修	2・3	講義	2	81TEA3L11	前後期	◎	○					△	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	学校現場における教育課題は、不登校やいじめなどの問題をはじめ、発達に課題のある生徒や養育困難な保護者の対応など多岐にわたる。本講義では、生徒のケアのための基礎的な知識と方法、そして予防・開発的教育相談について理解を深める。またカウンセラーなど専門機関とのチーム援助活動や不登校の生徒の支援方法についても体験的に学び、実践力を養う。	教育相談は、幼児、児童及び生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。幼児、児童及び生徒の発達状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的な知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的な知識を含む）を身に付ける。
美術科教育法Ⅰ	必修	2	講義	2	81TEA2L12	前期	◎	○			○	○	○	美術科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） 「美術科の教育目標と学習内容の理解」	中学校・高等学校の学習指導要領に基づきながら、教科の意義と目標を理解し、どのように授業内容を構築していくか考察する。美術教育の理論や歴史、領域や内容を学び、学習指導要領における表現領域の学習内容と指導事項について基礎的な理解を身に付ける。	中学校・高等学校における美術科の目標を理解し、その学習内容の背景となる理論について、美術教育史を通じて学び、理解する。
美術科教育法Ⅱ	必修	2	講義	2	81TEA2L13	後期	◎	○			○	○	○	美術科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） 「鑑賞教育の体験的理解及び美術科における授業設計」	鑑賞教育を体験的に学び、その理論と実践を理解する。学習指導要領に基づいた題材開発と授業設計の実践を知り、美術科学習指導要領の作成を行う。	中学校・高等学校における美術科の目標を理解した上で、鑑賞教育の理論と実践を知る。学習指導要領を作成することを通じ、学習指導要領に基づいた題材開発・授業設計を知る。
美術科教育法Ⅲ	必修	3	講義	2	81TEA3L14	前後期	◎	○			○	○	○	美術科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） 「絵画・デザイン・工芸分野に関わる教材研究と具体的な授業設計」	絵画・デザイン・工芸に関わる教材を研究し、学習指導要領に基づいた授業設計を試みる。 作成した学習指導案に基づき、実際に表現・鑑賞の活動を行い、その上で模擬授業を行うことで、実践的な授業力を向上させる。	絵画・デザイン・工芸分野における表現と鑑賞について、教材研究を通して授業設計ができるようになる。 模擬授業などを通じて、実践的な指導法を身に付ける。
美術科教育法Ⅳ	必修	3	講義	2	81TEA3L15	前後期	◎	○			○	○	○	美術科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） 「中学校美術科における工芸分野及び高等学校工芸科に関わる教材研究と具体的な授業設計」	彫刻や工芸に関わる教材を研究し、学習指導要領に基づいた授業設計を試みる。 作成した学習指導案に基づき、実際に表現・鑑賞の活動を行い、その上で模擬授業を行うことで、実践的な授業力を向上させる。	工芸分野における表現と鑑賞について、特に空間・環境の表現に関わる教材研究・授業設計の理解を深める。 模擬授業などを通じて、実践的な指導法を身に付ける。
社会科教育法Ⅰ	必修	2	講義	2	81TEA2L16	前期	◎	○			○	○	○	社会科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） 「社会科教育の基礎知識」	講義を通じて、社会科誕生時から今日までの先輩の業績の史料と実践例を示し、これからの教育実習から社会科教育の基礎的な知識を学習する。	社会科教育に必要な知識と教育法を知り、生徒が現代社会を主権者として生きぬくための力を身につけられるよう指導する資質を身に付ける。
社会科教育法Ⅱ	選択	3	講義	2	81TEA3L17	休講	◎	○			○	○	○	社会科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） 「社会科教育の基礎知識」	講義を通じて、社会科誕生時から今日までの先輩の業績の史料と実践例を示し、これからの教育実習から社会科教育の基礎的な知識を学習する。	社会科教育に必要な知識と教育法を知り、生徒が現代社会を主権者として生きぬくための力を身につけられるよう指導する資質を身に付ける。
社会科・地歴科教育法Ⅰ	必修	2	講義	2	81TEA2L18	後期	◎	○			○	○	○	社会科・地理歴史科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） 「指導案の書き方と教材研究」	小教科の特徴を把握し、指導案を書く練習をし、自主教材の作成にかかわる知識を習得する。ともに意欲を持ち、授業実践に生かせるようになりかえす。	社会科の各小教科の特徴を把握し、学習指導案が書けるようになる。さらに、時事的な資料など自主教材の作成に意欲的に取り組めるようになる。
社会科・地歴科教育法Ⅱ	必修	3	講義	2	81TEA3L19	後期	◎	○			○	○	○	社会科・地理歴史科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） 「模擬授業の実践」	自主教材の収集の実践を経験させ、高校・中学生を対象とする模擬授業を繰り返し、学生がお互いに他の学生の授業を参考として、批評することによって、自信をもって授業できるよう練習する。	自主教材の作成と、高校・中学生対象の模擬授業を通して、教壇に立つのにふさわしい資料への深い理解と自信を身に付ける。
地理歴史科教育法	必修	3	講義	2	81TEA3L20	前期	◎	○			○	○	○	地理歴史科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） 「教科指導の実践と反省」	高等学校の科目の模擬授業を繰り返し、正確な知識と国際的視野に立って資料を作成することによって、現代社会の課題を生徒に直接提供し、生徒が理解できるよう構成するを研究させる。	高校生を対象とする模擬授業を想定し、より高度な知識と国際的視野に立って、現代社会の抱える様々な問題に取り組む意欲を持つ生徒を育てる姿勢を持つ。
絵画基礎演習	必修	2	演習	2	20ART2S24	前後期	△	△			○	○	◎	絵画分野の基礎 「見る・描く・教える・学ぶ」	描くという行為を現代的な視点で見つめ直す機会とすると共に、絵画表現の今日的な可能性を制作実践を通して探究する。	絵画表現に関する発想、構想を基に創造的に表す技能を身に付ける。
彫刻基礎演習	必修	2	演習	2	20ART2S25	前後期	△	△			○	○	◎	彫刻分野の基礎 「彫刻・立体造形による表現の可能性を探る」	彫刻表現の基本的な要素である量や塊を意識しながら、様々な手法と思考を織り交ぜ、いくつかの課題を通して、その作業の積み重ねから表現力を高める。また、その形成されたフォルムと空間との関係性や見え方、あり方を学ぶと共に、独自の表現の可能性を探り、立体表現の魅力を知ることを目指す。	彫刻表現に関する発想、構想を基に創造的に表す技能を身に付ける。
デザイン基礎演習	必修	2	演習	2	20ART2S26	前後期	△	△			○	○	◎	デザイン分野の基礎 「生活や社会に楽しさや優しさをもたらす、人間関係を豊かにするデザイン教育」	学校教育の視点でデザインのあり方について、講義や演習を通して考えていく。美術教育における形や色彩などの造形要素を働きや、発想や構想する力の育成、学校教育におけるデザイン教育の現状と課題などを学び、学校での授業を想定した課題制作を通して、指導方法や評価方法の工夫、授業における技法、材料や用具の特性などの知識などを身に付け、美術教育の実践的な指導力へとつなげていく。	デザイン表現に関する発想、構想を基に創造的に表す技能を身に付ける。
工芸基礎	必修	2	演習	2	81TEA3S21	前後期	△	△			○	○	◎	工芸分野の基礎 「型染・ある時代の文様」	学校教育において「工芸」という教科に求められる資質と能力について理解し、幅広く指導できる知識と技術を身につける。素材の基本知識や扱い方を制作を通して学び、オリジナルの図案をデザインしたうえで、型染の技法を用いてハンカチを制作する。完成させた作品を鑑賞、プレゼンテーションを行い工芸授業の開発につなげる。	工芸表現に関する基礎的な技能、知識を理解し、実際に、制作することを通して体験的に技術を学び取る事を目的とする。その上で学校教育において幅広く工芸を指導できる知識と技術を身につける。
教育実習	必修	4	演習	5	81TEA3S22	通年	◎	○	◎	◎	○	○	○	学校教育の実践	実習校での3週間の教育実習（4単位）と事前事後指導（1単位）	教育実習は、観察・参加・実習という方法で教育実践に関わることを通じて、教育者としての愛情と使命感を深め、将来教員になるうえでの能力や適性を考えるとともに課題を自覚する機会である。 一定の実践的指導力を有する指導教員のもとで体験を積み、学校教育の実践を体験的・総合的に理解し、教育実践ならびに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付ける。

科目名	必修/選択	履修年次	講義/演習	単位数	ナンバリング	開講期	知識	思考力	行動力	倫理観	発想力	構想力	表現力	テーマ	授業概要	到達目標
教育実習(特例)	必修	4	演習	2		通年	◎	○	◎	◎	○	○	○	学校教育の実際	教育実習が新型コロナウイルスの影響で短縮及び中止になった対象者があれば余剰単位を用いて単位認定する。(2021年度から実施)	教育実習は、観察・参加・実習という方法で教育実践に関わることを通して、教育者としての愛情と使命感を深め、将来教員になるうえでの能力や適性を考えるとともに課題を自覚する機会である。一定の実践的指導力を有する指導教員のもとで体験を積み、学校教育の実際を体験的・総合的に理解し、教育実践ならびに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身に付ける。
教職実践演習	必修	4	演習	2	81TEA3S23	後期	◎	○					△	教員に求められる以下の資質能力の確認：教職の意義や教員の役割、社会性や対人関係能力、幼児児童生徒理解や学級経営、教科の指導力	演習を履修する者の教科に関する科目及び教職に関する科目の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認する。	教員になることを自覚し、責任ある態度・姿勢で教職に臨む意識を確立する。
教育方法(通信情報技術の活用含む)	必修	2	講義	2		前後期	◎	○	◎	◎	○	○	○	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法をめぐる理論や実践について概観する。主として、教育学における方法論的な議論のおこりから、さまざまな実践活動、そして現代の授業の方法や技術、あわせて情報機器や教材の活用について学ぶ。講義で取り上げる教育方法に関する基本の把握を求める。	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)では、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。
●学芸員課程																
博物館概論	必修	2	講義	2	81CUR2L01	前後期	◎	○					△	博物館に関する基礎的知識	博物館に関する基礎的知識を理解し、専門性の基礎となる能力を養う。	博物館に関する基礎的知識を習得する。
博物館資料論	必修	2	講義	2	81CUR2L02	前後期	◎	○					△	博物館資料の収集、整理保管	博物館資料の収集、整理保管等に関する理論や方法に関する知識・技術を習得し、また博物館の調査研究活動について理解することを通じて、博物館資料に関する基礎的能力を養う。	①博物館資料の収集、整理保管等に関する理論や方法に関する知識・技術を習得する。 ②博物館の調査研究活動について理解する。
博物館経営論	必修	3	講義	2	81CUR3L03	前後期	◎	○					△	博物館の適切な管理・運営	博物館の形態面と活動面における適切な管理・運営について理解し、博物館経営(ミュージアム・マネージメント)に関する基礎的能力を養う。	博物館の形態面と活動面における適切な管理・運営について理解する。
博物館情報・メディア論	必修	2・3	講義	2	81CUR2L04	前後期	◎	○					△	博物館における情報の意義と活用方法	博物館における情報の意義と活用方法及び情報発信の課題等について理解し、博物館の情報の提供と活用等に関する基礎的能力を養う。	博物館における情報の意義と活用方法及び情報発信の課題等について理解する。
博物館資料保存論	必修	2・3	講義	2	81CUR2L05	前後期	◎	○					△	博物館における資料保存・展示環境及び収蔵環境	博物館における資料保存・展示環境及び収蔵環境を科学的に捉え、資料を良好な状態で保存していくための知識を習得することを通じて、資料の保存に関する基礎的能力を養う。	博物館における資料保存・展示環境及び収蔵環境を科学的に捉え、資料を良好な状態で保存していくための知識を習得する。
博物館展示論	必修	2・3	講義	2	81CUR2L06	前後期	◎	○					△	展示の歴史、展示メディア、展示による教育活動	展示の歴史、展示メディア、展示による教育活動、展示の諸形態等に関する理論及び方法に関する知識・技術を習得し、博物館の展示機能に関する基礎的能力を養う。	展示の歴史、展示メディア、展示による教育活動、展示の諸形態等に関する理論及び方法に関する知識・技術を習得する。
博物館教育論	必修	2・3	講義	2	81CUR2L07	前後期	◎	○					△	博物館における教育活動	博物館における教育活動の基盤となる理論や実践に関する知識と方法を習得し、博物館の教育機能に関する基礎的能力を養う。	博物館における教育活動の基盤となる理論や実践に関する知識と方法を習得する。
生涯学習概論	必修	2・3	講義	2	81CUR2L08	前後期	◎	○					△	生涯学習及び社会教育の本質と意義	生涯学習及び社会教育の本質と意義を理解し、関係法令や行政組織を含め、社会教育機関としての理解を深める。	①生涯学習及び社会教育の本質と意義を理解する。 ②生涯学習に関する制度・行政・施策、家庭教育・学校教育・社会教育等との関連、専門的職員の役割、学習活動への支援等について理解する。
博物館実習Ⅰ	必修	3	演習	2	81CUR3S09	前後期	◎	○	○		△	△	△	見学実習(多様な館種の実態理解)と実務実習(資料の取り扱い、展示、博物館運営等の実務習得)から成る学内実習	見学実習を通して、多様な館種の実態を理解する。 ②実務実習を通して、資料の取り扱い、展示、博物館運営等の実務を習得する。	
博物館実習Ⅱ	必修	4	演習	1	81CUR3S10	通年	◎	○	◎	◎	○	○	○	館園実習(博物館における実務体験)	館園実習(博物館における実務体験)	現場体験を通して、館の実態や学芸員の業務を理解し、実践的能力を身に付ける。